

報告日 令和 3年 10月 31日(日)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第二学習 島原の乱⑩
開催日時 令和 3年 10月 28日(木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第一会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 10名 女 3名 合計 13名 欠席者 1名	
<p>・四郎 原城に楯籠(たてこもり)し事 一揆の大將益田四郎は大軍をもって二度富岡城を攻めたが勝てなかったので、廢城になっていた原城に楯籠る事にした。原城は岬の先端にあり、三方が海の険しい崖、一方のみが片下がりの湿地で城の廻りは百余丁。廻りは竹を伐り払い、地形を堅め、堀をかけ、敵防止の逆茂木を設置し所々に矢倉を作ったので難攻と見えた。守りは山田右衛門作等指導者を本丸二の丸三の丸等各所の持ち口に油断なく配置した。城中には鉄砲二千余挺あり。</p> <p>一方在江戸の九州諸大名は討伐のため急処帰国命令を受け、島原城主松倉勝家は居城での小競り合い後、周囲の敵陣を見ると昨日迄林立していた旗が見えず、敵陣の小屋に人影もなし、さては逃げたかと原城へ押し寄せたが、移動した敵は多勢、味方は僅かで怪我人も出たので後方に下がり味方軍勢を待った。</p>	
<p>次回予定 令和3年11月11日(木) 10:00~12:00 場 所 : 金沢公会堂第二会議室 テーマ : 第一学習 参勤交代(松平春嶽)②</p>	

分科会開催報告書